

Management Viewpoint

全社で取組む5S活動

経営学や経営理論は、世界の経済をリードしてきた米国を中心に発展し、経営戦略をはじめ、ファイナンス、マーケティング、バリューチェーン、IT戦略など、あらゆる分野で研究と活用が進み、グローバルスタンダードとなっている観がある。しかしこれらの分野の中で、逆に日本が世界をリードし、世界が日本をモデルとしているものがある。それは「生産管理」であり、その中に「改善(Kaizen)」や「5S」がある。

5Sとは、整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字から出来ている用語であり、ビジネスの世界で広く普及しているが、単なる社内の美化活動と誤解されていることが多い。5Sの真価は企業体質の改善にあると言える。5S活動はその運用次第で、リーダー人材育成や組織風土改革を実現することが出来る。

鋳造メーカーA社は、規律のないモラルの低下した組織だった。定年間近の管理職者はリーダーシップがなく、その下の中堅クラスもほとんど育っていない状態で、社員は挨拶もきちんと出来ず、製造現場は雑然とし、窓が割れていたり、ごみが落ちていたりしていた。

数年前に就任した新社長は、この状況を打破しようとさまざまな取り組みを行ったが、長い年月を経て組織全体に染み付いた風土はそう簡単には改善しなかった。

その悩みを聞いた筆者は、製造部門だけではなく営業や管理部門も含めた全社的5S活動プロジェクトを提案。社長自らがプロジェクトリーダーとなり、その下に管理職と中堅クラスを中心に5S委員会を組成し、大々的にキックオフをして、全社5S活動を開始した。

現在約半年が経過した途中の段階で、すでに以下のような成果が出てきている。

組織としての全社員の意思統一 / 管理職者と中堅クラスのリーダーシップ向上 / チームワークの強化 / 方針や業務、在庫の見える化 / ムダの削減による業務およびスペースの効率化・・・など

A社にも不況の波が直撃し、受注量は激減。リストラや平日休業も行っているが、社員の意欲・士気は衰えず、全社一丸となつてこの危機に立ち向かっている。以前のA社では考えられないことである。着実に組織風土改革が進んでいる証であろう。

◆上記コンテンツは、タナベ経営 メールマガジン「マネジメントレター（無料）」バックナンバーより掲載しております。

詳しくはこちら http://www.tanabekeiei.co.jp/member/mail_magazine/index.html

◆本レターの内容につきましては万全を期しておりますが、ご利用によって被ることのある損害に対しましては責任を負いかねますのでご了承ください。掲載された記事の著作権は、すべて(株)タナベ経営および原作者にあります。

発行・編集 株式会社タナベ経営

経営情報誌

『経営視座』で企業環境を「握る」、『DECIDE』を通じ勝てる場の発見と勝つ条件づくりを「まとめる」、そしてその実現に向けて『コンサルタントアイ』が提示する実践ノウハウを「利用する」。この「握る・まとめる・利用する」という原理原則を定期的にお届けします。

DECIDE

タナベ経営のトップコンサルタントによる戦略提言と、最新のビジネストレンドを独自の視点で探った特集記事で構成。経営者の目指すべき道筋を示唆します。 A4判 各24ページ 年24冊

コンサルタント・アイ

企業現場の第一線で活躍する経験豊富なタナベ経営コンサルタント陣が、業績の改善・業務革新につながる具体的なノウハウをご紹介します。 A4判 各24ページ 年24冊

経営視座

主要業界の各種調査・統計情報をはじめ、有識者や業界専門紙の記者など多彩なラインアップで、現在の企業を取り巻く経営環境を多面的に描き出します。 A4判 32ページ 年12冊



各誌 年会費
12,600円
(消費税・送料込)

HPにて最新号サンプル閲覧できます！

http://www.tanabekeiei.co.jp/member/info_magazine/index.html

お問合せ

(株)タナベ経営 ネットワーク本部
担当 北浦

住所: 〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-3-41

TEL: 06-7177-4006 E-mail: nw@tanabekeiei.co.jp